

磐城公論

行發日卅・日五十(回二)月每

福島縣石城郡平町字〇町十九番地
編輯兼發行人 山田 政好
印刷所 二葉 舎
福島縣石城郡平町字研町十九番地
發行所 磐城公論社
電話四〇八番
廣告料 五號十二字詰一行五十錢
場所指定 拾錢増
定價一部 十錢 一年貳圓四十錢

苦節清節三十年の

若松美三氏に御同情願

公的生活に捧げた五十有七年は

我等黨人の模範とする處である

代議士 比佐昌平氏談

◎我が立憲民政黨公認縣會議員候補者若松美三氏は、五十有七年の生活を、或ひは地方自治體の首腦者として、或ひは政黨の一員として克く一貫した信念のもとに私の最も敬服する苦節と清節とを今日まで守られた人物であります。

◎この三十年の苦節清節は遂に若松美三氏の、私財を漸次失はせる結果を來し、今回の立候補以來これが爲に非常に苦戦であります。まして期日切迫した今日は、反對黨の金權が猛然として若松氏の地盤を襲撃し、

ありとあらゆる手段サク戦て若松氏を衝きつゝある現状です。

私は前後二回の選挙に於て金權候補者に苦しめられた苦い経験を以つてある、故に今回若松氏の私と同様の苦戦に對しては私は決して他人事では無く一層痛切に若松氏の苦衷の程を察し我が立憲民政黨に賛成し、同情して下さる我が石城郡民諸氏に、このク節清節三十年の若松美三氏に御同情あり清き一票を投ぜられん事を御願致す次第であります。

◎若松美三氏は政治生活に於ても、

來終始一貫河野磐洲先生の門下とし

又社會生活に於ても私の最も敬愛する先輩であります三十年前大隈重信侯の統御する進歩黨に入黨されて以

してこの金權者の蹂躪を排撃する決心であります、此の意味に於きまして私の最も敬愛するク節清節三十年の若松美三氏を縣政壇上に送る可く石城郡民諸君に清く尊き一票の御同情を重ねて御願致す次第であります



影面の氏三美松若

てその節を全ふした點は我が石城郡の候補者中の異彩として我が黨の誇りとする處であります。

この若松美三氏を金權によつて陥れんとする如きは、わが神聖なる石城郡の選挙界を冒瀆する行爲である、私はわが石城郡民諸君と共に敢然と

推薦
縣會議員
候補者 **若松美三君**

諸君の御同情に訴へ極力その當選を期す

昭和二年九月二十四日

木田 織江
石城郡大野村
漆畑 元吉
石城郡平町

流言と語に迷はされて

若松野崎兩候補

危機におち入る

投票日もいよいよ明日に切迫した。當選の榮冠を戴いて勝利の凱歌を擧ぐるも落戦の悲哀を満喫して、萬斛の血涙を流すも明日はなつた。

泣くも笑ふもコ、二日である。選舉事務所も戰爭状態である。候補者も血眼である。選舉運動員も決死的覺悟を以つて最後のベストを盡して居る政戦の巷、血火相撃つ壯觀を呈してやまぬ。

負けてはならぬ。落選してはならぬ。勝たねばならぬ!!! 當選せねばならぬ!!! トハ、すべての戦争勝負事の結論だ。

目的のために手段を擇まず勝たんがため…… 當選の月桂冠を得んため、諸有、卑怯なる戦術を以つて斯の光榮ある普選の政戦場に見ゆる中立候補者といへる

若松氏に對する事件は私等父子が立派に解決する

決して若松氏並に同志諸君に御心配はかけぬ決心であります

大野村 木田 剛氏談

若松美三氏に對する田子派の提起したと稱さる、當選妨害の問題は事件解決の鍵を握る木田織江氏並に令息剛氏は二十三日平檢事務局の取調を受け一切の真相事實を鮮明に陳述せる如くにしてこれが爲本事件は若松氏に對しては絶対に波及せず最も安

筒井順慶、洞ヶ峠をキメコム鼠輩ありとすればドコ〜マデモ彼等中立候補者を葬らねばならぬではないか討てよ。

懲せよ。中立候補—— コーモリ候補。中立候補を斷じて絶対排斥するは普選をして光榮あらしむる所以デアラネバナラヌ

推薦したが又ははしないかは私が一番明確に知つて居ります、私は事實を飽く迄も事實として卒直に檢事に陳述して來ましたから事件は自ら神聖に解決さるゝ事と固く信じて疑ひありません。私は若松氏に對する父の推薦狀を發する様福島毎日新聞の村上君に依頼したので若松氏は何も知らなかつた事であり、小川村に於ける演説も私より若松氏が聞いた範圍内に於て語られた迄でせうから問題になる筈はありません、私は若松氏の名譽の爲に飽く迄も事實を申立て、必ず何人にも迷惑をかけず解決致す決心ですからワガ同志諸君は御安心あられん事を希望致します。最後に一言したい事は若松氏と私の父とは竹馬の友であり三十年來の政治的同志であり私的には親密なる友人であります、私等父子は此處に謹しむて若松美三氏に尊き一票を投じて下さる事を御願致し極力その當選を祈つてやまぬ次第であります。云々

推薦 縣會議員 候補者 若松美三君

諸君の御同情に訴へ極力その當選を期す

昭和二年九月二十四日

山田 綠 雨

石城郡平町